

令和5(2023)年度 事業計画

公益目的事業(公1) 美術品の展示及び調査研究などの美術館事業

1 展覧会の開催

展覧会名	期 間	日数	説 明
生誕100年秦森康屯展 館蔵品によるその時代	4/1～5/21	51	文教住宅都市宣言60周年記念事業 2023年は「文教住宅都市宣言」を行ってから60年目にあたる。秦森康屯は1962年に西宮市甲陽園に居を構え、以後西宮で創作を続けた。文教住宅都市西宮の環境が彼の芸術を育み完成へと導いたといっても過言ではない。秦森康屯の生誕100年を記念し、秦森康屯の作品の他、当館所蔵の同年代の作品を展覧し、時代ごとの美術の在り方を検証する。また、秦森康屯と交流のあった地元作家、荒木高子と山口牧生を併せて展示する。
	入館料 一般1,000円		
「おいしい」ボタニカル・ アート展	6/10～7/23	44	イギリスのキュー王立博物館の協力のもと、植物画(ボタニカル・アート)の中でも食用になる植物を描いた作品に焦点を当てた展覧会。野菜、果物だけでなくコーヒーやお茶、ハーブ、各種スパイスなどの逸話や背景を紹介。ボタニカルアートを通じてイギリスの歴史と文化をたどる。
	入館料 一般1,200円		
2023イタリア・ボロー ニャ 国際絵本原画展	8/19～10/9	52	世界で唯一の子どもの本専門の見本市ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェアでは、毎年、世界最大級の絵本原画コンクールが行われている。 2023年入選作品による恒例の展覧会。
	入館料 一般 1,200円		
画人たちの仏教絵画 —如春斎再び!—	10/21～11/26	37	市内の寺院が所有する勝部如春斎の描いた「三十三観音図」全三十三幅を一挙公開。江戸時代に西宮出身で唯一、画人として全国に名を轟かせた如春斎を再び取り上げ、郷土の画人の存在を周知する。それに併せ、池大雅や呉春、原在中など、江戸時代の画人が描いた仏教絵画も展示し、市民になじみが薄いとおもわれる江戸時代の仏教美術への関心を高める契機とする。
	入館料 一般 1,200円		
館蔵品展 日本画ことはじめ	1/13～2/18	36	本館の初めての取り組みとして、この時期要請の多いアウトリーチ向け(小中学生の鑑賞教育向け)の企画展示を実施する。日本画を中心とした、一般の来館者も楽しめる内容となるよう工夫する。
	入館料 一般 1,000円		
須田国太郎展	3/2～4/21	30	関西洋画の巨匠である須田国太郎は理論と実作を通じて油彩画法を歴史的に研究し、独自の光と影のリアリズム絵画を生み出した。この展覧会では、油彩画の代表作約60点を中心に、未紹介作品を含む水彩、素描の他、スペイン留学時代の写真約100点を一堂に展示し、これまでにない視点からの須田国太郎の芸術を紹介する。
	(R5年度事業は3/2～ 3/31)		
	入館料 一般 1,200円		
合 計		250	

関連事業として、

講演会やミュージアム・コンサートなど、幅広い方に美術館においていただけるような催しを開催します。

また、アーカイブ化した所蔵品をDVDで鑑賞できるよう旧喫茶室を交流サロンとして提供します。

引き続き、小学校図工科の鑑賞教育活動に協力するほか、市の施策「Touch heart! Program」に参加します。

2 美術に関する調査研究・資料収集事業

全国各美術館で開催された展覧会図録を収集するとともに、美術館ニュースを発行します。

3 美術に関する創造活動の支援及び専門的人材の育成事業

博物館実習の受入を今年も行います。

法人運営

1 理事会開催

会議名	開催日	出席者	主な議案等
第1回理事会	5月に予定	理事 監事	令和4(2022)年度事業報告及び決算の件 定時評議員会招集の件 その他
第2回理事会	3月に予定	理事 監事	令和6(2024)年度事業計画及び収支予算の件 令和5(2022)年度収支補正予算(第2回)の件 その他

2 評議員会開催

定時評議員会	6月に予定	評議員 監事	令和4(2022)年度事業報告及び決算の承認の件 その他
--------	-------	-----------	---------------------------------

3 その他

空調関連機器の更新工事を行います。